

平成 23 年 3 月 11 日

インターンシップ地域研修～最終報告～

インターン生 冴べさん

受入施設の紹介

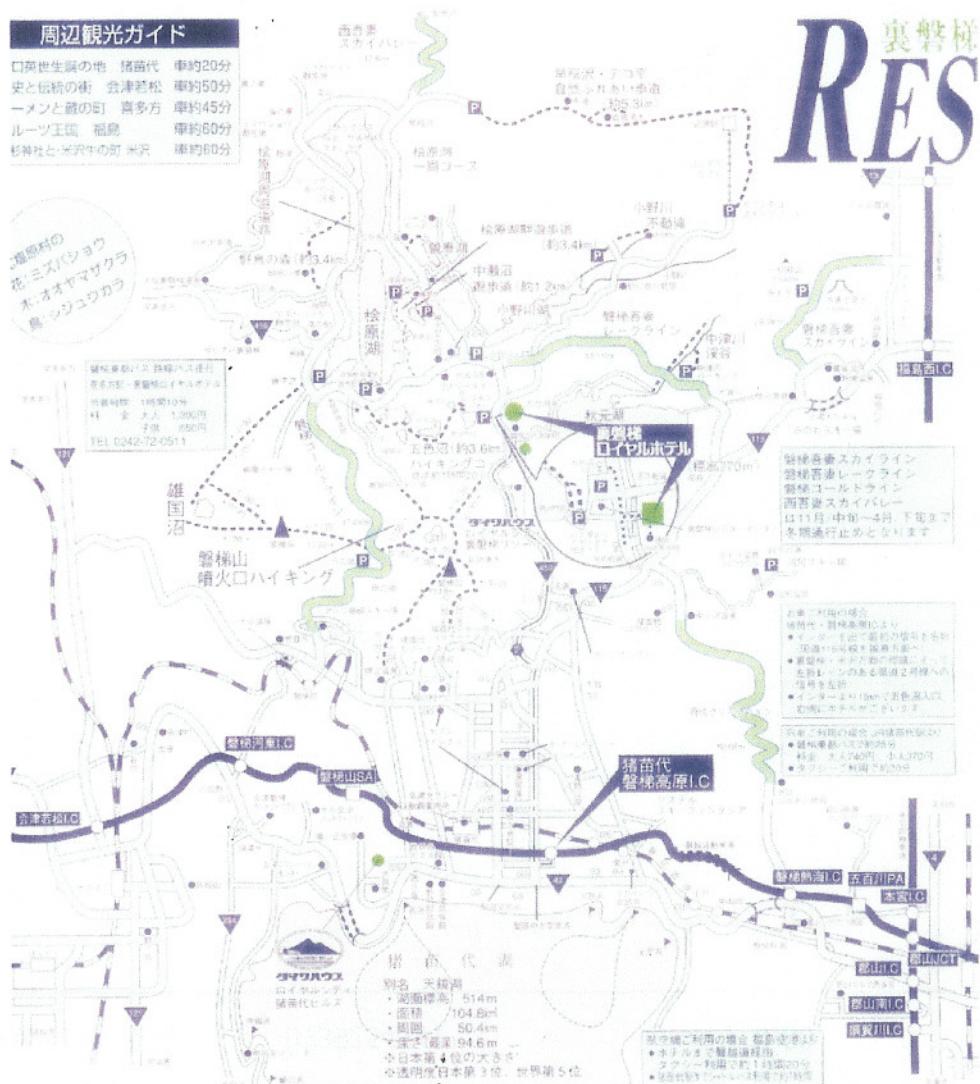
受け入れ施設：磐梯ロイヤルホテル

場所：耶麻郡北塙原村

館内の案内：地上4階、客室数227室

ダイワロイヤルホテルズ:全国に27ものホテルグループをもつダイワハウスグループです。

周辺地域の案内：磐梯山の中腹に位置する五色沼に隣接し、車で10分位の所に桧原湖があり、この地域には、五色沼を含む大小300余の沼があり、また近くにスキー場も多く自然豊かな環境にあります。



《研修の目的》

私自身生まれ育った現在の集落は会津の山間地域にある過疎・高齢化の典型であり、10件ほどの世帯で、20代・30代の若い人はひとりも生活しておらず切実な問題にもなっており、その対策を考えるときに観光産業発掘の事業が町から出たときに、いちはやく手を上げました。

その理由として、集落周辺の山には4月から5月の上旬にかけて「かたくり」の花が群生し自然を歩く散歩コースにはうつつけの地域となっています。

しかし、整備や案内などの作業は負担が大きく高齢者には大変厳しいものとなつてきています。

そのために、この地域が活性化するために旅館運営や農家、農産物販売施設などの取り組みを学び、そのアイディアやノウハウを地域に反映していき活性化の手助けになることが出来るのではないかと思い、このインターンシップ地域研修に参加することにしました。



《研修で学んだこと》

地域活性化のための観光という考えはとても共感できますが、現実にホテルや旅館が地域と一体になって活動していくというのは、とても難しいということが分かりました。

その取り組みが即集客に結びつくかというと、やはり時間と協力する人たちが必要となってきます。

そこで地域の観光に集客できる人材が必要で、ホテルや旅館から人を出して地域活性化のための活動をするということが即結果に結びつくものではなく、協力はしたいがなかなか出来ないというのが現実でした。

しかし、このままで良いというのではなく、やり方がわからないのだと思います。

魅力的な地域づくりのためには、強いリーダーシップがあり、地域とのコミュニケーション能力のある人材が必要だということ。

《研修・作業内容》

2月23日～28日まではフロント業務、3月1日～10日までは料飲部（レストラン他）の業務を担当しました。

フロント業務

- お客様のお迎え（車やバスが到着した際に、お客様をご案内するため玄関までお迎え）
- チェックイン作業（短期間で任せることは出来ないので担当しました）
- お荷物のクローケーへのお預かりや、部屋へのお届け
- 館内のご案内
- 玄関装飾
- 鍵の閉じ込めの対処
- リフトの前売り券販売
- バスや電車のアクセス時間の案内
- お客様へのゲームスタッフ（bingoゲーム）

料飲部業務（レストラン）

- 朝食のお客様を指定のテーブルにご案内
- 朝食の接客（バイキングでしたので料理やジュース等の補給）
- 下膳
- テーブル拭き
- 食器等のセッティング

料飲部業務（大ホール）

- 会場のテーブルや椅子のセッティング（クロス掛け等の装飾）
- 配膳
- 修学旅行のお客様への接客
- カレーのルー盛り
- 下膳
- 食器の洗い場への移動

《課題内容と実施報告》

1. 地域づくり型観光の考え方を学ぶ

2月21日に行われた和歌山大学教授大澤健先生の講演を参考に、裏磐梯地域の「地域づくり型観光」の取り組み方を学ぶ。

2. 地域活性化のヒント

地域活性化には、人材の発掘や育成、素材の発掘などいろいろあるが、そのためにはどうすればよいか。

《課題達成度と今後の予定》

1. 地域づくり型観光の考え方を学ぶ

2月25日から27日までの3日間「裏磐梯雪まつり2011」という3年前よりこの地域が行政と一体になって始めた雪祭りの中で2月26日には「エコナイトファンタジー」と題したイベントが開催されました。見渡す限りの真っ白な銀世界が広がる中に、湖面が氷結して出来たキャンバスに灯る3000本のキャンドルは息をのむ美しさです。

このイベントにも裏磐梯ロイヤルホテルは積極的に参加していました。

2. 地域活性化のヒント

地域活性化のためには人材はもちろんのこと素材の発掘も重要な課題のひとつであることは、この研修で学びました。

その素材のひとつが、この地域で昔から伝えられている伝説の裏磐梯の「守り狐」を題材にして、村内で採取された間伐材を利用し、ストラップを作り、お守りとして500円で販売していました。

コストもかけず地域の素材を生かすということでは、ひとつのヒントになりました。



《今後のキャリアにどう生かすか》

大澤健先生の考える「観光のための地域づくり」ではなく「地域づくりのための観光」が大事であるという考えが、自分の地域に関わっていく上で、短い言葉の中に凝縮されていたと思います。

また、この研修の中、いろんな地域や人たちとの関わりで、ひとつの職業しかやってこなかったことは良かったけれども、他の接客やサービスで学んだことや地域での取り組みを見聞きしたことが、大変参考になったことは言うまでもありません。

ネットワーク作り、コミュニケーションが大事だと改めて感じさせていただきました。
短期間に多くの経験をさせていただいたことに感謝したいと思います。

ありがとうございました。